

2015 幸福度日本一の福井発見シリーズ ～私のふくい探訪～

福井に関わりの深い県外在住の著名人による寄稿文をコラムシリーズ広報として新聞紙面に掲載し、広く県民の皆様へ福井の良さを再発見するきっかけとしていただくとともに、併せて川田会長によるエネルギーに関する一言メッセージをお届けし、エネルギーに関する理解促進を図りました。掲載は平成27年5月10日から8月30日までの間に、10日おきに12回シリーズのコラム広報として、福井新聞・社会面に縦割り1/6ページ分の大きさにて実施しました。(12回分のコラム内容は当会ホームページ<http://www.fukui-kan-ene.net/>にてご覧いただけます。)

掲載日	寄稿文執筆者	タイトル
第1回 5月10日掲載	元経済産業事務次官 北畑 隆生 氏	福井から 日本海の未来へ
第2回 5月20日掲載	2020年オリンピック・パラリンピック 東京大会推進室長 平田 竹男 氏	楽しみな 2020年の福井
第3回 5月30日掲載	伊藤忠商事(株)取締役会長 小林 栄三 氏	福井も「内なるグロー バル化」の推進を
第4回 6月10日掲載	前駐ウクライナ特命全權大使 坂田 東一 氏	トビタテ!福井の若者
第5回 6月20日掲載	元内閣官房副長官 瀧野 欣彌 氏	地方創生のリーダー 福井へ
第6回 6月30日掲載	日本商工会議所会頭 三村 明夫 氏	福井の活力で未来へ
第7回 7月10日掲載	JXホールディングス(株) 代表取締役社長 内田 幸雄 氏	故郷福井への恩返し
第8回 7月20日掲載	コマツ代表取締役会長 野路 國夫 氏	福井発 グローバルリーダーとなれ
第9回 7月30日掲載	Jフロンティアリテリング(株) 代表取締役社長 山本 良一 氏	未来へつなぐ 福井の魅力
第10回 8月10日掲載	東京大学教授 中村 尚史 氏	幸福な福井における 希望の追求
第11回 8月20日掲載	防衛省航空幕僚長 齋藤 治和 氏	福井の豊かな未来は すぐそこに
第12回 8月30日掲載	商工中金社長 杉山 秀二 氏	発信力強化で福井の イメージ向上を

PR 幸福度日本一の福井発見シリーズ

私のふくい探訪

発信力強化で福井のイメージ向上を

今から十九年ほど前、福井県に赴任した。福井県は、自然豊かな美しい土地であり、また、福井県民の心温まるおもてなしが、福井県をより魅力的な土地にする。福井県は、自然豊かな美しい土地であり、また、福井県民の心温まるおもてなしが、福井県をより魅力的な土地にする。

杉山 秀二
商工中金社長

1974年東京大学経済学部卒業。通商産業省(現経済産業省)入省。通商産業省経産局長、中小企業庁長官などを歴任。2004年から2006年まで経済産業省副大臣、2008年より商工中金副社長、2012年より現職。

エネルギーの観点から、食糧や防衛の喫緊課題に即座に対応する必要がある。福井県は、食糧や防衛の喫緊課題に即座に対応する必要がある。福井県は、食糧や防衛の喫緊課題に即座に対応する必要がある。

PR 幸福度日本一の福井発見シリーズ

私のふくい探訪

福井から日本海の未来へ

2016年、経済産業事務次官に就任した。福井県は、自然豊かな美しい土地であり、また、福井県民の心温まるおもてなしが、福井県をより魅力的な土地にする。福井県は、自然豊かな美しい土地であり、また、福井県民の心温まるおもてなしが、福井県をより魅力的な土地にする。

北畑 隆生
元経済産業事務次官

東京大学卒業。経済産業省入省。2006～2008年まで経済産業事務次官。2010年日本EPC総合センター人財育成推進部長、2011年経済産業省特別顧問、現在は、西神戸製鋼所社外取締役、宇佐田大工科大学副学長。

エネルギーの観点から、食糧や防衛の喫緊課題に即座に対応する必要がある。福井県は、食糧や防衛の喫緊課題に即座に対応する必要がある。福井県は、食糧や防衛の喫緊課題に即座に対応する必要がある。

自動車産業界を取り巻く諸課題とトヨタの取り組み(仮)

2015 8/21 14:00～15:30
福井商工会議所ビル 地下コンベンションホール

トヨタ自動車株式会社
代表取締役社長
小平 信因 氏

1974年東京大学工学部卒業。通商産業省(現経済産業省)入省。2004年～2006年通商産業省副大臣、2008年～2010年通商産業省副大臣、2012年～2014年通商産業省副大臣、2015年～2016年通商産業省副大臣、2017年より現職。

申し込みは、要領用紙にご記入の上、申請書 8/13(日)まで FAXまたはご連絡ください。後日、受講票を送付いたします。

2020年オリンピック・パラリンピック 東京大会に向けて

2020年8月7日 13:30～15:00
福井商工会議所ビル 地下コンベンションホール

内閣官房参与
2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室長
平田 竹男 氏

1960年経済産業省入省。通商産業省(現経済産業省)入省。通商産業省(現経済産業省)入省。通商産業省(現経済産業省)入省。通商産業省(現経済産業省)入省。

申し込みは、要領用紙にご記入の上、申し込みはご返信ください。後日、受講票を送付いたします。

わかりやすく学ぶ国際情勢 特別講演会
ウクライナ危機と日本

元文部科学事務次官で、前駐ウクライナ特命全權大使の坂田東一氏から、昨今のウクライナ情勢について学ぶとともに、国際社会と日本との関わりについて理解を深めます。

平成27年 6月9日 13:30～15:00
福井商工会議所ビル 地下 国際ホール

坂田 東一 氏
元文部科学事務次官

1974年東京大学法学部卒業。文部科学省入省。2006～2008年文部科学省事務次官。2010年～2012年駐ウクライナ特命全權大使。2013年～2015年文部科学省特別顧問。現在は、西神戸製鋼所社外取締役、宇佐田大工科大学副学長。

申し込みは、要領用紙にご記入の上、申し込みはご返信ください。後日、受講票を送付いたします。

わかりやすく学ぶセミナーシリーズとして、次の3回シリーズのセミナーを開催しました。

2010-2014

第4回 福井県経済界サマースクール(協力)

テーマ:地域の将来は大丈夫か。ともに考える!

- ◎日時 平成22年8月23日(月)~24日(火)
- ◎会場 ホテルハーヴェストスキージャム勝山
- ◎主催 福井県経済団体連合会
- ◎講師 京阪電鉄株式会社 佐藤 茂雄氏/兵庫県知事 井戸 敏三氏
日本商工会議所常務理事 宮城 勉氏/女優 竹下 景子氏
- ◎参加者 111名



第5回 福井県経済界サマースクール(共催)

テーマ:どうなる!世界の行方、日本の針路、地方の将来

- ◎日時 平成23年8月26日(金)~27日(土)
- ◎会場 ホテルハーヴェストスキージャム勝山
- ◎主催 福井県経済団体連合会
- ◎講師 伊藤忠商事株式会社取締役会長 小林 栄三氏
近畿経済産業局長 長尾 正彦氏
福井県経済団体連合会会長 川田 達男氏



第6回 福井県経済界サマースクール(共催)

テーマ:これからの日本と地域の将来
~「元気な日本」復活へのシナリオを探る

- ◎日時 平成24年8月21日(火)~22日(水)
- ◎会場 ホテルハーヴェストスキージャム勝山
- ◎主催 福井県経済団体連合会
- ◎講師 コマツ代表取締役社長兼CEO 野路 國夫氏
経済産業省顧問・前事務次官 松永 和夫氏
福井県経済団体連合会会長 川田 達男氏



第7回 福井県経済界サマースクール(共催)

テーマ:地域と企業の未来は?
~地域発の成長戦略を考える~

- ◎日時 平成25年8月28日(水)~29日(木)
- ◎会場 ホテルハーヴェストスキージャム勝山
- ◎主催 福井県経済団体連合会
- ◎講師 東京大学教授 中村 尚史氏
近畿経済産業局長 小林 利典氏
福井県知事 西川 一誠氏



第8回 福井県経済界サマースクール(共催)

テーマ:日本・地域・企業はどこへ進むべきか!
~次なる成長戦略を探る~

- ◎日時 平成26年8月27日(水)~28日(木)
- ◎会場 ホテルハーヴェストスキージャム勝山
- ◎主催 福井県経済団体連合会
- ◎講師 経済産業事務次官 立岡 恒良氏
三菱自動車工業株式会社取締役社長 益子 修氏
福井県経済団体連合会会長 川田 達男氏



2015

第9回 福井県経済界サマースクール2015

主催:福井県経済団体連合会・福井県商工会議所連合会 共催:福井県環境・エネルギー懇話会

『どうなる!?世界のなかの日本、福井の未来』

- ◎日時 平成27年8月26日(水)~27日(木) 1泊2日
- ◎会場 ホテルハーヴェスト スキージャム勝山
- ◎講師 外部講師 菅原 郁郎氏 (経済産業事務次官)
西 正典氏 (防衛事務次官)
内田 幸雄氏 (JXホールディングス代表取締役社長)
豊田 順子氏 (日本テレビアナウンサー)
地元講師 西川 一誠氏 (福井県知事)



ふくいの希望と未来というテーマで対談する西川知事と豊田アナウンサー



経済成長戦略の新たなステージについて語る菅原経済産業事務次官

毎年8月、福井県勝山市を舞台に開催する「福井県経済界サマースクール」を福井県経済団体連合会、福井県商工会議所連合会と共催で開催しました。

第9回を迎えた今回は「どうなる!?世界のなかの日本、福井の未来」をテーマに掲げました。

各界一流の講師陣を招いて、地域経済をリードする企業経営者、行政幹部、大学関係者等163名が集まり、世界の中の日本、福井の未来について熱く議論しました。

最初のセッションでは、経済産業事務次官の菅原郁郎氏、防衛事務次官の西正典氏、JXホールディングス株式会社社長内田幸雄氏の3氏による特別講演が行われ、それぞれ経済成長、防衛政策、エネルギー情勢について示唆に富んだ貴重なお話しをいただきました。

また、その後のセッションでは「ふくいの希望と未来」というテーマで、福井県知事西川一誠氏と日本テレビアナウンサーの豊田順子氏による対談が行われました。

2015

自衛隊小松基地・北陸電力志賀原子力発電所視察研修会

主催:福井県経済団体連合会 共催:福井商工会議所、福井県防衛協会

- ◎日時 [1回目]平成27年7月2日(木) [2回目]7月9日(木)
- ◎会場 自衛隊小松基地、北陸電力志賀原子力発電所
- ◎主管 福井県環境・エネルギー懇話会
- ◎参加者 70名(2回合計)



自衛隊小松基地でF15戦闘機の説明に熱心に聞き入る参加者の皆さん



北陸電力志賀原子力発電所

自衛隊小松基地と北陸電力志賀原子力発電所の視察研修会を女性を中心に参加を募り、県経済団体連合会等とともに実施し、7月2日と9日の2回で、合計00名の方が参加しました。

自衛隊小松基地では、最初に基地の概要についての説明を受けた後、F15戦闘機や救難隊飛行機などの実機を間近に見学し、参加の皆さんはその威容に圧倒された様子でした。

北陸電力志賀原子力発電所では、福島での事故を受けて安全対策の強化に取り組んでいる状況を目の当たりにして、熱心に案内担当者質問するなど、日頃の疑問点を整理し、理解を深めていました。

経済産業省資源エネルギー庁委託事業
第16回エネルギー・環境教育セミナー

主催:経済産業省 資源エネルギー庁
主管:福井県環境・エネルギー懇話会、公益財団法人 日本科学技術振興財団
後援:福井県教育委員会、福井市教育委員会

- ◎日時 平成27年11月19日(木)
- ◎場所 福井商工会議所ビル コンベンションホール
- ◎内容
 - 基調講演
演題:「持続可能な社会と学力 ~現行および次期学習指導要領をめくって~」
講師:神奈川大学特別招聘教授/名古屋大学名誉教授 安彦 忠彦氏
 - 実践事例発表
エネルギー・環境教育に取り組んでいる学校からの実践事例発表
発表校:いわき市立小名浜第一小学校(福島県)/越前市武生第一中学校(福井県)
 - 総合講評 京都教育大学 教授 山下 宏文氏

◎参加者 県内を中心とする教育関係者 50名



基調講演で持続可能な社会と学力について語る安彦忠彦氏



県内を中心に50名の教育関係者が参加



安彦 忠彦(あびこ ただひこ)氏
1942年東京都生まれ。東京大学教育学部卒業後、名古屋大学教授、早稲田大学教育・総合科学学術院特任教授等を経て、2012年より現職。中央教育審議会委員(2005年~2013年)をはじめ、日本カリキュラム学会代表理事、日本教育方法学会理事等を歴任。

2010-2014

第11回 エネルギー・環境教育セミナー

- ◎日時 平成22年11月25日(木)
- ◎場所 福井県生活学習館「ユニー・アイふくい」多目的ホール 他
- ◎内容
 - 基調講演「エネルギー教育の意義と実践のヒント」
北陸電力エネルギー科学館
サイエンスプロデューサー 戸田 一郎氏
 - 実践事例発表

◎参加者 県内を中心とする教育関係者 85名



山下 宏文(やました ひろふみ)氏

1982年東京学芸大学大学院修了後、東京都の公立小学校教諭、京都教育大学教育学部助教授などを経て2002年より現職。専門は環境教育、社会科教育。日本エネルギー環境教育学会顧問、日本教材学会常任理事、他。2003年より当懇話会の専門委員会である環境・エネルギー教育問題懇談会の座長。

総合講評を語る山下宏文氏

第12回 エネルギー・環境教育セミナー

- ◎日時 平成23年11月24日(木)
- ◎場所 福井商工会議所ビル コンベンションホール・国際ホール
- ◎内容
 - 基調講演「これからのエネルギー環境教育」
文部科学省初等中等教育局教育課程課
教育調査官 清原 洋一氏
 - ワークショップ・実験・模擬授業

◎参加者 県内を中心とする教育関係者 65名



第14回 エネルギー・環境教育セミナー

- ◎日時 平成25年11月19日(火)
- ◎場所 福井商工会議所ビル コンベンションホール
- ◎内容
 - 特別講演「宇宙開発の未来を拓くJAXAの取り組み ~宇宙放射線、宇宙太陽光発電等の研究と将来~」
JAXA(宇宙航空研究開発機構)理事 加藤 善一氏
 - 実験・実習、ワークショップ

◎参加者 県内を中心とする教育関係者 36名(特別講演 240名)



第13回 エネルギー・環境教育セミナー

- ◎日時 平成24年11月24日(木)
- ◎場所 福井商工会議所ビル コンベンションホール
- ◎内容
 - 基調講演「暮らしに役立つ放射線 ~がんの診断・治療の最前線~」
福井県立病院陽子線がん治療センター
センター長 山本 和高氏
 - 実験・実習、実践事例発表

◎参加者 県内を中心とする教育関係者 61名



第15回 エネルギー・環境教育セミナー

- ◎日時 平成26年11月20日(木)
- ◎場所 福井商工会議所ビル コンベンションホール
- ◎内容
 - 基調講演「知らないではすまされないエネルギーの話」
21世紀政策研究所 研究主幹 澤 昭裕氏
 - 実践事例発表・パネルディスカッション

◎参加者 県内を中心とする教育関係者 51名



2010-2014

【2011年度】

●APECエネルギー大臣会合開催1周年記念「ジュニア国際セミナー~世界を知ろう~」

北畑隆生氏 元経済産業事務次官	演題 「アジアと日本」	6月14日(火) 武生第二中学校
		10月4日(火) 気比中学校
長谷川榮一氏 元中小企業庁長官	演題 「広がる世界、狭まる世界 ...世界で活躍し多くの体験をしよう!」	6月17日(金) 美浜中学校
		6月17日(金) 西浦中学校
谷内正太郎氏 元外務事務次官	演題 「たかだかとした心」と「たくましい足どり」 一明倫・上志比中学校の皆さんへ	6月24日(金) 明倫中学校
		6月24日(金) 上志比中学校
長谷川榮一氏 元中小企業庁長官	演題 「広がる世界、狭まる世界 ...世界で活躍し多くの体験をしよう!」	6月30日(木) 上中中学校
		7月1日(金) 上庄中学校

●上田隆之氏特別授業in科学技術高校

日時 平成23年11月10日(木) 演題「ものづくりと日本の未来」

●平田竹男氏特別授業in丸岡中学校

日時 平成23年11月17日(木) 演題「国際人になるために」

【2012年度】

●平田竹男氏特別授業in明道中学校

日時 平成24年12月11日(火) 演題「国際人になるために」

●平田竹男氏特別授業in福井商業高校

日時 平成24年12月12日(水) 演題「国際人になるために」

【2013年度】

●平田竹男氏特別授業in進明中学校

日時 平成25年1月29日(水) 演題「国際人になるために」

●北畑隆生氏特別授業in森田中学校

日時 平成25年2月17日(月) 演題「中東と日本」

【2014年度】

●平田竹男氏特別授業in上中中学校

日時 平成26年10月30日(木) 演題「国際人になるために」



上中中学校での長谷川榮一氏(2011年度)



上志比中学校での谷内正太郎氏(2011年度)

2015 エネルギー国際情勢学習支援事業

坂田東一氏特別授業in羽水高校

- ◎日時 平成27年6月9日(火)
- ◎講師 前駐ウクライナ特命全権大使 坂田 東一氏
- ◎演題 「国際社会に出てみよう~国際人になろう」

北畑隆生氏特別授業in高志高校・高志中学校

- ◎日時 平成27年6月22日(月)
- ◎講師 元経済産業事務次官 北畑 隆生氏
- ◎演題 「中東と日本」

立岡恒良氏特別授業in藤島高校

- ◎日時 平成27年12月14日(月)
- ◎講師 元経済産業事務次官 立岡 恒良氏
- ◎演題 「グローバル経済と日本~明日を担う若者たちへ~」



明日を担う若者たちへ熱く語る立岡氏



1年生344名が熱心に耳を傾ける



進明中学校での平田竹男氏(2013年度)



森田中学校での北畑隆生氏(2013年度)

映画「パンドラの約束」上映 「原子力・エネルギーについて考える」

環境問題から原子力・エネルギーについて考えるドキュメンタリー映画「パンドラの約束」の上映を、県経済団体連合会とともに主催し、福井シネマにて9月から10月の約1カ月にわたり実施しました。

「パンドラの約束」は、原子力の可否を環境問題の視点に立って、福島県やチェルノブイリ（ウクライナ）など世界各地での取材を基に検証したドキュメンタリー映画で、原子力の果たす役割について冷静に考えるきっかけにしたい、ということを狙ったものです。

主催者側では新聞等による広告や、会員の方々の招待券送付などにより、約2千名の方に鑑賞した

だけ、事後のアンケートでは、「原子力についての認識をあらたにした。」「今後、原子力の報道等について深く見守っていきたい。」といったご意見をいただきました。



なぜ彼らは原発を肯定するのか？
地球環境保護論者たちの視点とは？

パンドラの約束

PANDORA'S PROMISE

監督・脚本：ロバート・ストーン
出演：ロバート・ストーン、ジョン・コホ、マーク・ライナス、リチャード・ロー、マイケル・ヘンリー、ゲイ・チャールズ、ケイト・ワイルド、ロバート・ストーン、ジョン・コホ、マーク・ライナス、リチャード・ロー、マイケル・ヘンリー、ゲイ・チャールズ、ケイト・ワイルド、ロバート・ストーン、ジョン・コホ、マーク・ライナス、リチャード・ロー、マイケル・ヘンリー、ゲイ・チャールズ、ケイト・ワイルド

2013年/アメリカ/カラー/85W/16:9/DCP/原題:PANDORA'S PROMISE/87分
原簿:フジテレビ、配給:トラヴィス
www.pandoraspromise.jp

サンダンス映画祭2013 正式招待作品



サンダンス映画祭で論争を巻き起こした注目のドキュメンタリー

映画の案内ポスター・チラシと招待券(右上)



高村 昇(たかむら のぼる)氏
1997年長崎大学大学院医学研究科終了。同大学准教授などを経て2008年より現職。専門は放射線影響学、被爆医療学など。チェルノブイリ原発事故後の現地での医療協力にも携わる。2011年より福島県放射線健康リスク管理アドバイザー、川内村健康アドバイザーも務める。

一方で、福島県民を対象としたアンケート調査の結果、健康障害への不安を抱えている人が多いことにも触れ、住民の判断

東京電力福島第一原発事故により、一時全村避難した福島県川内村の復興支援に取り組む長崎大学の高村昇教授と同大学院生の折田真紀子さんを招き、「正しく知ろう！福島の今」復興支援に学ぶ放射線と健康への影響」をテーマに講演会を開催しました。川内村は、2012年1月に福島県内初の「帰村宣言」を行い、復興を進めています。長崎大学と川内村は協定を結び、

また、福島原発事故後、暫定基準値を設定し食品や水の流通を制限したこと、内部被ばくのリスクが低減したこと、健康調査のデータを基に解説。今のところ甲状腺がん発症のリスクは高くない、としました。

「正しく知ろう！福島の今」長崎大学高村教授・折田保健師講演会

主催：福井県環境・エネルギー懇話会 共催：福井県経済団体連合会

- ◎日時 平成26年4月22日(火)
- ◎会場 福井商工会議所ビル コンベンションホール
- ◎講師 長崎大学 原爆後障害医療研究所 教授 高村 昇氏
長崎大学 大学院生(保健師・看護師) 折田 真紀子氏
- ◎演題 「正しく知ろう！福島の今 ～復興支援に学ぶ放射線と健康への影響～」
- ◎参加者 350名



高村教授による講演の後、引き続き、教え子の折田保健師による講演が行われた



折田 真紀子(おりた まきこ)氏
2013年長崎大学大学院保健学専攻修了。同年より高村教授指導のもと保健師・看護師として「長崎大学・川内村復興推進拠点」に常駐し、住民目線の復興支援に取り組む。2014年2月にはIAEA(国際原子力機関)の専門家会議において、川内村での取り組みについての講演を行った。

2013年に「長崎大学・川内村復興推進拠点」を開設。住民の健康相談などを行い、復興に協力しています。

材料として、測定結果や今まで分かっている科学的知見などを正しく伝えることが重要だ、と述べました。

川内村復興推進拠点に常駐している大学院生の折田氏は、保健師として住民支援している取り組みを紹介。震災復興と新たな町づくりを進めるうえで、地元の行政機関の職員と、放射線に関する専門知識を持つ医療従事者や科学者などが連携を取り、きめ細かい支援を行うことの必要性を訴えました。

長崎大学・復興推進拠点/IAEAも注目する川内村からの現地レポート

正しく知ろう！福島の今

復興支援に学ぶ放射線と健康への影響

平成26年 4月22日(火) 13:30~15:10

福井商工会議所ビル 地下 コンベンションホール (無料)

長崎大学 原爆後障害医療研究所 教授 高村 昇氏
長崎大学 大学院生(保健師・看護師) 折田 真紀子氏

お問い合わせは、住所・氏名、電話番号を記載の上、下記メールアドレスまでご連絡ください。お申し込みは、当日、会場までお越しください。

主催：福井県環境・エネルギー懇話会 共催：福井県経済団体連合会
会場：福井県環境・エネルギーセンター 福井市西區本町6-4 TEL:0776-33-7090 FAX:0776-33-7052

日本経済新聞に意見広告

当懇話会・県経済団体連合会の川田達男会長は、福島第一原子力発電所事故後の原子力をめぐる議論について考える意見広告をを新聞紙面に掲載しました。

最近の不毛な 原子力議論を 考える

エネルギー・原子力政策は、我が国の経済再生、国民生活の安定などに関わる重要な問題です。エネルギーコストの負担増は、企業の海外進出を加速させ、産業の空洞化と地域の疲弊を招き、国民・県民にとって雇用の喪失など大きな打撃となります。

福島第一原子力発電所事故の決定的な原因は、津波による全電源喪失であり、東京電力や国の事前の備えや事故対応が不十分であったことは明らかです。しかしながら、事故後の原子力をめぐる議論は、曖昧模糊として未だに方向性の定まらない不毛な議論と言わざるを得ません。

また、原子力規制委員会による活断層調査についても、綿密な調査のもと議論を尽くして、科学的な根拠に基づく検証などが行われているか疑問であります。

福島事故を教訓に原子力発電所の安全性を徹底的に高め、活用するという現実的な対応を考えるべきと思われます。

新興国の台頭によるエネルギー需要の増大など激変する世界情勢の中、世界各国はエネルギー資源の確保にしのぎを削っています。

そうした中、ほとんど資源を持たない日本は、安定供給、環境性、経済性に優れた原子力、さらにはLNGなどのエネルギーのベストミックスを政策の要とするべきです。

今後のエネルギー、特に原子力については、我が国の今後のあり方を決める重要な問題です。安全であることを大前提に、しっかりと方向付けされた責任あるエネルギー・原子力政策の実現がなければ日本の明日が心配です。



福井県経済団体連合会
会長 川田達男

福井県経済団体連合会 〒918-8004 福井県福井市西木田2-8-1 福井商工会議所ビル6F ☎0776(33)7050

新聞掲載の意見広告(4月15日付 日本経済新聞)

わかりやすく学ぶエネルギーセミナー 「これでいいのか!最近の不毛な原子力議論を斬る」

主催:福井県環境・エネルギー懇話会、福井県経済団体連合会

*第1回セミナー 講師:NHK水野解説委員

- ◎日時 平成25年4月22日(月)
- ◎会場 福井商工会議所ビル 国際ホール
- ◎講師 NHK解説委員 水野 倫之氏
- ◎演題 福島第一原発事故と事故後の原子力の安全
- ◎参加者 114名

*第2回セミナー 講師:京都大学 林教授

- ◎日時 平成25年5月15日(水)
- ◎会場 福井商工会議所ビル 会議所A・B
- ◎講師 京都大学防災研究所、巨大災害研究センター長 教授 林 春男氏
- ◎演題 巨大災害と防災の観点からの原子力災害
- ◎参加者 77名

*第3回セミナー 講師:広島大学 奥村教授

- ◎日時 平成25年5月28日(火)
- ◎会場 福井商工会議所ビル 会議室A・B
- ◎講師 広島大学大学院文学研究科教授 奥村晃史氏
- ◎演題 活断層・地震と原子力施設の耐震安全性
- ◎参加者 101名

***第2回セミナー
京都大学 林教授**
危機管理で重要なのは対

東日本大震災をきっかけに各地の原発では現地調査が行われており、今後、廃炉判断を迫られる原発が出るだろうと指摘するとともに、電力会社の債務超過や自治体の経済を懸念し、国は原発を廃炉にする際の支援や、導引きを図りやすくするためのロードマップも検討しなければならぬという認識を示しました。



林 春男(はやし・はるお)氏
1979年早稲田大学大学院修了。1983年カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)にて博士号取得。弘前大学、広島大学を経て、1996年京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授、2013年4月より現職。専門は社会心理学、危機管理・災害情報システム。文科省科学技術・学術審議会専門委員等。

***第1回セミナー NHK水野解説委員**
報道関係者の視点から、福島第一原発の現状について事故はまだ収束していないとし、廃炉作業を円滑に進めるには国が司令塔となる必要があると述べました。



水野 倫之(みずの・のりゆき)氏
1987年名古屋大学卒業後、NHKに記者として入局。初任地青森での核燃料サイクル取材をきっかけに原子力の担当となる。もんじゅのナトリウム漏れ事故や東海村の臨界事故など原子力事故取材も多く経験。福島原発事故では発生直後からニュースなどで事故の状況を数か月に渡り解説。



奥村 晃史(おくむら・こうじ)氏
1987年東京大学大学院修了。工業技術院地質調査所で地震地質研究を行った後、1996年より広島大学文学部および同大学大学院文学研究科で活断層・第四紀地質の研究・教育に携わる。世界各地で過去の大地震の痕跡を調査して長期的地震危険度評価と地震防災の基礎データ取得とその活用に努めている。

日本原電は2つの海外研究者グループに第三者として客観的な調査を依頼しており、自身もそのメンバーとして今後より広い範囲を調査し、瑣末な議論はやめるよう勧告したいと述べました。

***第3回セミナー 広島大学 奥村教授**
断層・活断層・破砕帯と、原子力安全委員会が進めてきたバックチェックについては説明。活断層研究は非常に主観的で見方によって判断が分かれるものであり、だからこそバックチェックが必要であると話しました。また、地質の詳細な調査も判断しない中、規制委員会が日本原電の再調査を待たず敦賀2号炉下に活断層があると判断したこと

に疑問を呈しました。

心のプロセスであり、それを継続的に改善できるかが問われると話ししました。原子力災害への対応も危機管理であり、あらゆる危機を想定し対応を考えるべきとしました。危機管理で重要な概念を6つ挙げ、災害対策にはその中の「ハザード」についての理解の深化と地域の防災力向上が必要と述べ、今後は南海トラフ地震に備えなければならないとしました。

原子力および北陸新幹線に関する提言について。

当懇話会・県経済団体連合会の川田達男会長とJA福井県五連の山田俊臣会長は、国や県の重要課題や政治情勢などについて幅広く意見交換する場を設けました。このなかで特に原子力問題と北陸新幹線問題について極めて重要という認識で一致し、広く県民の皆様にご理解いただくため

に、平成24年11月14日に福井市内のホテルで共同記者会見を開きました。共同で声明を発表するのは今回が初めてです。この提言の主旨について、それぞれの問題ごとにタペストリーやポスターにまとめて、関係先に配布・掲示しました。また新聞での意見広告を掲載しました。

意見広告

(子どもたちの未来のために。)



日本が心配です。福井の明日は…。

「原子力問題」です。

私たちが、県、市町とも連携しながら、環境やエネルギーの問題を考えてきました。ほとんど資源を持たない日本は、安定供給、環境性、経済性に優れた原子力、さらにはLNGなどのエネルギーのベストミックスを政策の要とするべきです。安全であることは大前提ですが、原子力の選択を失うことは、電気料金の高騰、産業の空洞化を招きます。福井の産業、雇用にも大きな打撃となります。将来に禍根を残すことなく、力強い未来を描くため、世界のエネルギー情勢も見据えた現実的なエネルギー戦略の構築が不可欠です。

もう一つ、「北陸新幹線着工問題」。

福井県内の開業が十三年後では、北陸の中での都市間格差の広がりや、福井の産業・地域経済への深刻な影響が懸念されます。

私たちは、考えます。

福井県内での着工は、電気料金の高騰は、本県産業にも深刻な影響を与えます。

山田俊臣

福井県内での着工は、原子力政策は、日本の活力を失います。

川田達男

新聞掲載の意見広告



共同会見を行う当懇話会・県経済団体連合会の川田会長(右)とJA福井県五連の山田俊臣会長(左)。



望月 晴文(もちつき・はるふみ)氏
1973年京都大学法学部卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省。原子力安全・保安院次長、中小企業庁長官、資源エネルギー長官などを経て、平成20年7月から平成22年7月まで経済産業事務次官。現在、日本生命保険相互会社特別顧問。神奈川県出身。

望月晴文氏(元経済産業事務次官)特別講演会

主催:福井県環境・エネルギー懇話会 共催:福井県経済団体連合会

- ◎日時 平成24年4月11日(水)
- ◎会場 福井商工会議所ビル コンベンションホール
- ◎演題 エネルギー政策の今後～その場しのぎの政策でいいのか～
- ◎参加者 261名



元経済産業事務次官の望月晴文氏を講師に迎えた講演会を、福井市商工会議所ビルで開催。約260人の参加者が集まり、みな熱心に聴講していた。

東日本大震災による福島第一原発事故を受け、2012年をエネルギー政策転換の節目と位置づけ、「エネルギー政策の今後」と題した講演会を開催しました。元経済産業事務次官である望月晴文氏を講師に招いて、会場に集まった約260人が国内のエネルギー政策について学びました。

望月氏は「文明国家の基礎は、豊かなエネルギーをたやすく手に入れて、活用できること」とし、エネルギー政策は生活の基本であると話しました。その上で、2010年に閣議決定されたエネルギー基本計画が白紙見直しとなったことについて、国の運営に問題があると批判しました。また、エネルギー政策は、安定供給・セキュリティ・経済性の3つの目標を柱に決定されるべきだと指摘しました。

みんなで始めよう「こころの節電」キャンペーン実施。

実施期間2011年6月1日から



私も「こころの節電」を応援します。
ふくいブランド大使
竹下景子



みんなで始めよう
こころの節電

これまでの生き方をいま一度振り返り、日本人の知恵である「もったいない」の心で、節電だけでなく、モノを大切に使い、無駄をなくしていくこと、「こころの節電」キャンペーンが展開されました。福井県内の経済団体や企業などによる「こころの節電」福井県推進協議会が立ち上げられ、当懇話会は事務局を担当しました。

この取り組みに賛同した企業・団体は、700社以上となりました。県民生協の全組合員(約52000人)へのチラシ・ステッカー配布や、トラック協会所属の全トラック(約1300台)へのステッカー貼付など、多くの協力を得て、取り組みの輪が広がっていきました。

また、この取り組みには、ふくいブランド大使の竹下景子さんの協力も得て、ポスターやウェブサイトをを通して広く呼びかけていただきました。

暑中お見舞い申し上げます

みんなで始めよう
こころの節電

www.kokoro2011.jp

元気福井。頑張ろう日本!

みんなで始めよう こころの節電

私たち一人ひとりが持っている優しい心で、「こころの節電」を始めませんか。

東日本大震災から3か月、これから暑い夏がやります。夏場やエネルギーには限りがあります。「もったいない」の心は、暮らしを快適で豊かにするための日本人の知恵です。あの日のことを忘れず、私たちが、今ある幸せを大切に。暑熱以上の活動に行動していくことが重要と考えられています。福井での身近な協力も、きっと日本のためになります。心のあかりを添えて、人やモノを愛する「こころの節電」は、日本が明るく元気を取り戻すための私たちのための提案です。福井県から「こころ」を届けましょう。

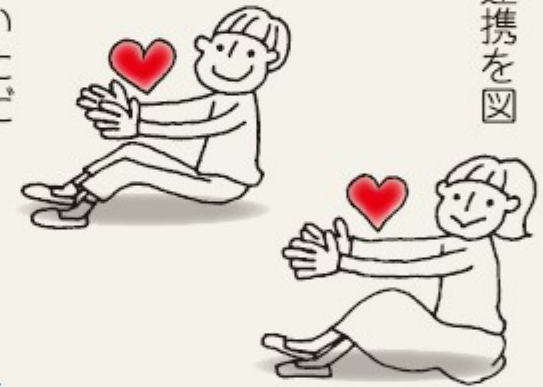
アイデア募集!

www.kokoro2011.jp

福井県が提唱する節電への取り組み「クールライフプロジェクト」とも連携し、それぞれのポスターやチラシにお互いのロゴマークを共有しました。これにより県と経済界の連携を図り、相乗効果を狙いました。

こうした活動により、賛同の輪は個人へも広めることができました。

また、ウェブサイトで節電アイデアを募集したところ、約100名の方から応募いただき、10代から60代以上といった幅広い年齢層からアイデアが集まりました。入賞のアイデア約20件をウェブ上で紹介し、賞品贈呈を行いました。



左から、川田達男会長、田中伸男氏、今井尚哉氏。

新聞紙上鼎談

「エネルギーの未来と日本の役割、福井への期待」

掲載日:平成23年10月23日(日) 掲載紙:福井新聞 全15段

内容:前IEA事務局長 田中 伸男氏

資源エネルギー庁次長 今井尚哉氏

福井県環境・エネルギー懇話会会長 川田 達男

上記3氏による新聞紙上鼎談(実施日:平成23年9月28日)

進行:福井県商工会議所連合会 企画広報部長 峠岡 伸行氏



田中 伸男氏



川田 達男 会長



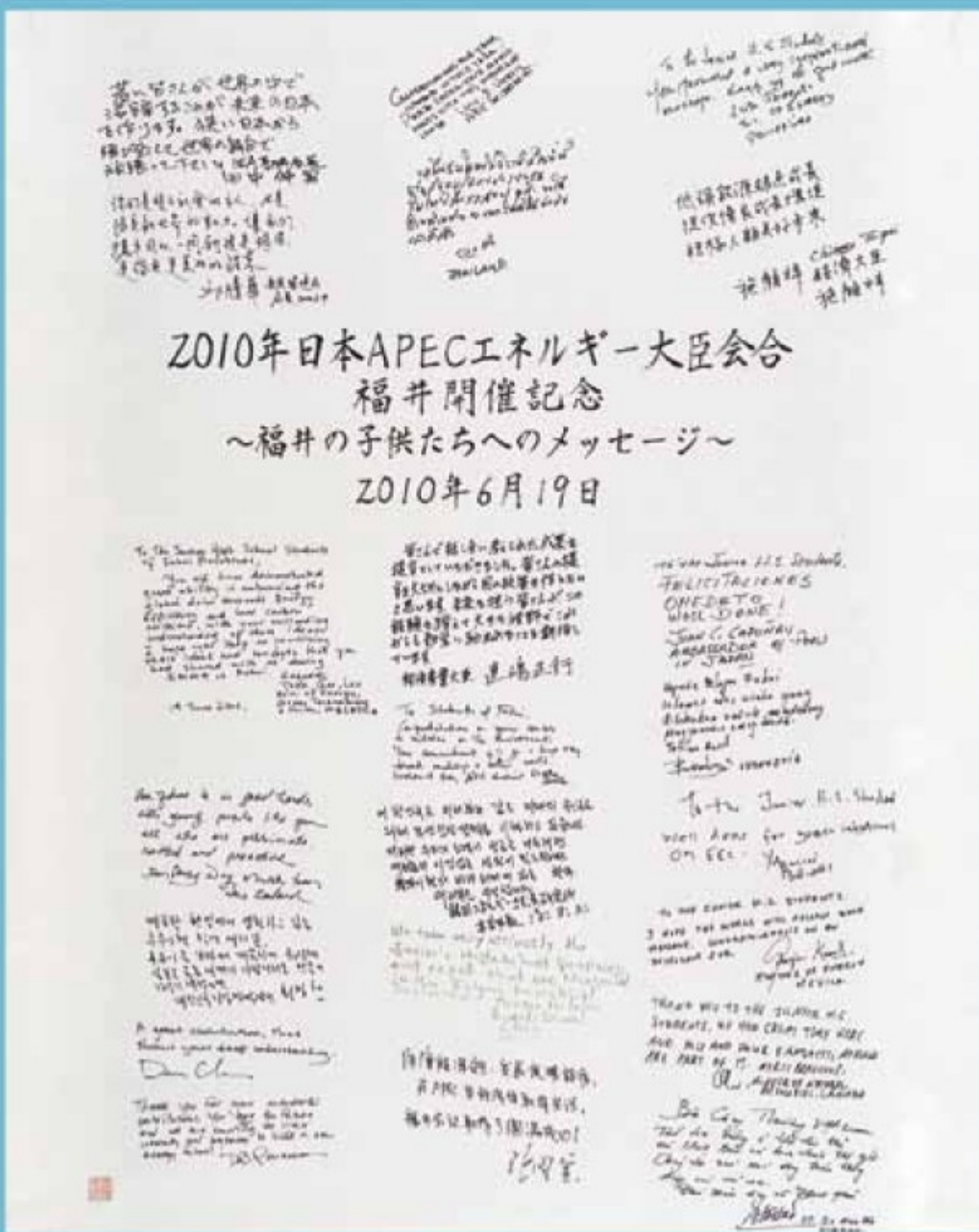
今井 尚哉 氏

「エネルギーの未来と、日本の役割、福井への期待」と題して、田中伸男氏、今井尚哉氏、川田達男会長ら3人による鼎談が行われました。

まず、世界のエネルギー情勢と問題点、日本にとって、安定的に安く、環境にやさしいエネルギーの確保が重要であると、話し合われました。また、エネルギーの未来に向け、日本、福井の果たす役割は大きく、福井県は電源立地県として、これまで蓄積されたノウハウなどを「安全」に向けて大いに生かしていくべきと述べられました。



**APEC JAPAN 2010
Energy Ministers' Meeting**
June 18-20, 2010 Fukui, Japan



APECジュニアフォーラムからの提言を受け、各国・地域の代表者から福井の子供たちへ寄せられたメッセージをイラストレーターにて制作。

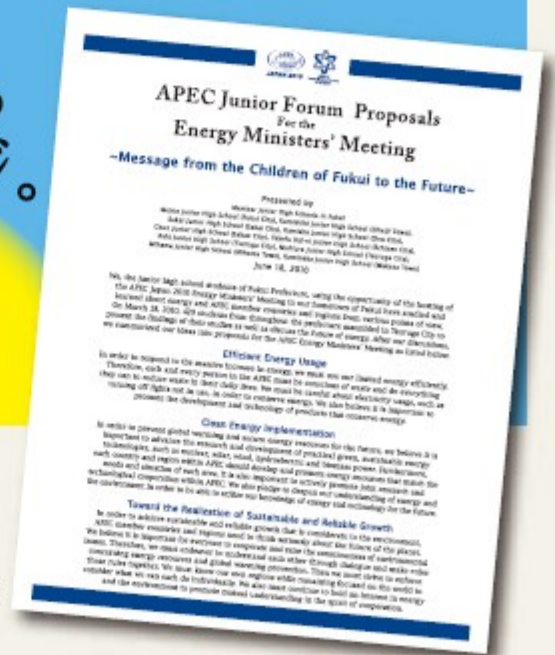
各国大臣からジュニアフォーラム参加中学校への寄せ書きをタペストリーにして製作

2010 日本APECエネルギー大臣会合 2010年6月19日(土)・20日(日)

「福井宣言」と、 福井の子どもたちから 未来へのメッセージ。



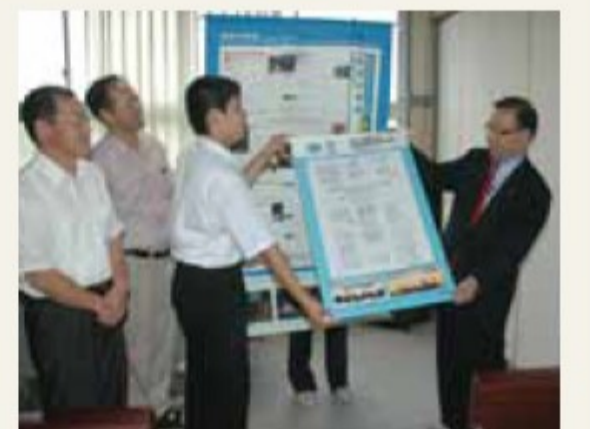
APEC福井宣言の文書



ジュニアフォーラム提言の舞台となった歓迎レセプションで、乾杯の発声をする
当懇話会の川田達男会長(福井商工会議所ビル)



ジュニアフォーラムで作成された壁新聞を
タペストリーにして展示(福井商工会議所ビル)



参加10校を代表して坂井中学校で
生徒代表にタペストリーを贈呈



人形を使って、腹話術を披露するいっこく堂氏

親子環境・エネルギーセミナー

- ◎日時 平成22年12月23日(木・祝)
- ◎場所 フェニックス・プラザ 大ホール
- ◎テーマ 「いっこく堂&ガリレオ工房 滝川先生と一緒に学ぶクリスマスのつどい」
- ◎参加者 4,000名(午前・午後の部 合計)



巨大風船が会場に投げ込まれ、子どもたちは大喜び



身振り手振りで大熱演の滝川洋二先生



○クイズで出題するいっこく堂氏と西川一誠知事



サンタクロースに扮する
西川一誠知事